

## ◇平成29年度事業報告

我が国の経済動向は、日銀が4月2日に発表した3月の企業短期経済観測調査(短観)では、企業経営者の景気への不安感を示す結果となった。輸出主導の日本経済は「海外頼み」の弱さがあり、米国の保護主義や最近の円高が影を落とし、戦後二番目の長さの景気拡大が、転換点を迎える可能性も出てきているとしております。

バス事業は、地域住民の生活の足として、また地域振興に必要不可欠な公共交通機関として、地域社会の健全な発展のために重要な役割を果たしてきているところであります。

一方、長期高齢社会を迎えての高齢者や障害のある人々が自立して社会生活を送っていくうえでの安全に移動し社会参加するための阻害要因を除去し、快適で生活しやすい環境の基盤を整備することも必要であり、すべての人が安全に移動し社会参加ができるように「人にやさしいバス輸送」への対応が求められております。さらには、地球温暖化ガスの削減や大気環境の改善は喫緊の課題であり、「環境にやさしいバス輸送」への対応が求められてきているなど、バス事業の役割はこれまで以上に重要になってきており、期待されているところであります。

乗合バス事業の現状は、都市部において利用者は若干増加傾向となっておりますが、地方部においては減少傾向が依然として続いており大変厳しい経営状況となっております。また、貸切バス事業は、新運賃・料金制度の下で経営基盤の健全化が進んでおります。また、乗合バス、貸切バスともに運転者不足の問題を抱えております。

このような事業環境の中、地域住民の生活交通の確保、安全輸送対策、環境対策、交通バリアフリー対策を含めた輸送サービスの改善、地震防災対策、情報技術の進展への対応等、バス輸送の取り組むべき課題が山積する状況の中にあつて、これらの課題の多くがバス事業者の自主的な取り組みだけで対応することは極めて困難な状況にあり、とりわけ、事業の根幹に関わる事故防止等の安全対策は、重要な課題であります。

軽井沢スキーバス事故は社会に大きな衝撃を与えました。再発防止策である「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」に基づき、国土交通省が着手した各種安全対策が実施されております。

当協会としても更なる貸切バスの安全確保の徹底を図り、利用者の信頼回復を図ることとしています。

また、「安全にして安定した輸送サービス」を目標に掲げ、業界の意見を外部に反映させながら、種々の問題に対応して事業の活性化と利用の促進を図り、地域社会から信頼される公共交通機関としての使命を達成していくため、運輸事業振興助成交付金及び会費を財源として、公益社団法人日本バス協会と連携しながら、効果的なバス輸送の振興を推進するため、平成29年度においては下記の各種事業をそれぞれ実施いたしました。

## 記

### 1. バス事業の調査研究、知識の普及事業

#### (1) 各種委員会における調査研究、知識普及事業

##### ① 事故防止委員会

平成30年1月29日に事故防止委員会を開催し、中部運輸局自動車技術安全部保安・環境課主査から「事故発生後の再発防止対策について」、自動車事故対策機構名古屋主管支所マネージャーから「安全推進活動実施のためのコミュニケーション講座について」ご講演をいただいた。

##### ② 貸切バス実務委員会

平成29年4月25日に第1回貸切バス実務委員会を開催し、中部運輸局自動車交通部旅客第一課専門官から「事業許可更新制の導入について」、(一財)中部貸切バス適正化センター事務局長から「中部貸切バス適正化センター設立について」説明をいただいた。

平成29年7月27日に第2回貸切バス実務委員会を開催し、中村警察署交通課課長代理から「名古屋駅のバスベイ利用に関する交通ルール遵守について」、次に、愛知運輸支局保安担当者から「貸切バス事業者、運行管理者等の遵守事項の強化及び健康管理に関する取り組み等について」ご講演をいただき、東京海上日動リスクコンサルティング(株)首席研究員から「セーフティ・eラーニング(乗務員に対する安全教育)について」説明をいただいた。

平成30年1月18日に第3回貸切バス実務委員会を開催し、中部運輸局自動車技術安全部保安・環境課長から「貸切バスの安全対策について」ご講演をいただき、愛知運輸支局輸送担当の首席運輸企画専門官から、会員から事前に運賃・料金等の質問事項に対する回答をいただき、意見交換を行った。

## (2) 中部運輸局主催会議への参加

### ①自動車事故防止セミナー2017への参加

平成29年9月28日に中部運輸局主催の自動車事故防止セミナー2017～多角的な事故防止対策～に協賛し、バス事業者とともに参加した。

### ②中部バス事業人材確保・育成対策会議への参加

平成26年7月に国土交通省にてとりまとめられた「バスの運転者の確保及び育成に向けた検討会とりまとめ」を踏まえ、行政とバス事業者等が一体となってバスの運転者の確保及び育成に向けた対策を推進することを目的とした中部運輸局主催の第5回中部バス事業人材確保・育成対策会議(平成30年3月19日)にバス事業者とともに参加し、各事業者及び各県バス協会の取り組みと各運輸支局の取り組みについて報告し意見交換を行った。

## 2. 安全輸送体制の確保事業

バス事業者を対象として、安全運行に資する事業に対し助成を行うとともに、運行に係る法制度等の周知、交通安全、輸送の安全対策を目的として各種説明会、講習会を実施した。

また、キャンペーン等を通じて、一般市民に対して交通安全意識の啓蒙を図った。

### (1) 安全運行に資する事業に対する助成事業

#### ①運転者適性診断受診助成事業

バスの運転に関する長所、短所といった「運転のクセ」が様々な測定により見いだされ、それぞれのクセに応じたアドバイスを受けることで、交通事故防止に活用できる運転者適性診断を受ける事業者に対して、その受診費用の助成を実施した。

#### ②睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査助成事業

運転手の睡眠障害は、重大な事故を引き起こしかねないため、利用者の安全確保のため、バス運転手の睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を行う事業者に対して助成を実施した。

#### ③安全運行対策設備等整備助成事業

ドライブレコーダー、アルコール検知器、衝突被害軽減ブレーキ、モ

ービルアイ、補助ステップ等の整備を行う事業者に対して助成を実施した。

## (2) 説明会・研修会（指導研修事業）の実施

### ① 指導研修事業

運行管理者講習会、安全マネジメントセミナー、運行管理者試験対策講習、救命講習会等を行い、過労運転や健康に起因する事故防止等、健康管理について講演をいただき運行管理者の資質向上を図るとともに利用者の安全確保に努めた。

### ② 貸切バス安全性評価認定制度説明会及び認定取得促進助成事業の実施

「貸切バス安全性評価認定制度」は、貸切バス事業者の安全性や安全の確保に向けた取組状況を評価・公表することで、バスの利用者や旅行会社がより安全性の高い貸切バス事業者を選択しやすくとともに、本制度の実施を通じ、貸切バス事業者の安全性の確保に向けた意識の向上や取り組みの促進を図り、より安全な貸切バスサービスの提供に寄与することを目的として設けられた制度である。

この制度の普及を図り認定取得を支援するため、バス事業者を対象とした説明会を開催するとともに、認定申請を行ったバス事業者への助成事業を実施した。

### ③ バス事業に関する適正化事業（コンサルティング事業）

会員バス事業者の安全性向上を目的とした適正化事業を平成26年度から実施しており、平成29年度は46社実施した。

（26年度4社、27年度12社、平成28年度は33社実施）

## (3) キャンペーン事業

バスターミナル、営業所、車内等へのポスター掲示や、行政機関（国、県（含県警本部））、関係団体と協働による街頭での一般市民へのチラシやグッズの配布及び、市町村窓口でのチラシ配布等により交通事故防止キャンペーン事業を実施した。

### ① 車内事故防止キャンペーンの実施

### ② 春、夏、秋、年末年始交通安全運動の実施

### ③ 交通安全等街頭取り締まりへの参加

### 3. 環境対策の推進事業

バス事業者を対象として、環境対策の推進に資する事業に対し助成を行うとともに、地球温暖化防止対策に対処するため、人と環境にやさしいバスに関するキャンペーン活動を実施した。

#### (1) 環境対策に資する助成事業

デジタルタコグラフ等を導入する事業者に対して助成を実施した。

#### (2) グリーン経営認証制度の普及及び認定取得助成事業の実施

バス事業者の環境対策への取組状況を評価・公表することで、バスの利用者や旅行会社が環境対応事業者を選択しやすくするとともに、本制度を通じ、バス事業者の環境対応への意識の向上や取り組みの促進を図るとともに制度の普及を図った。

認定取得助成事業については、平成29年度は応募がなかった。

#### (3) キャンペーン事業

エコドライブやアイドリングストップなど地球温暖化防止の取り組みについて周知するため、バスターミナル、営業所、車内等へのポスター掲示、行政機関（国、県(含県警本部)、関係団体との協働による一般市民へのチラシ及びグッズの配布及びホームページの掲載等により以下のキャンペーン事業を実施した。

①エコドライブキャンペーン

②アイドリングストップキャンペーン

③グリーン経営認証制度の認定取得・活用キャンペーン

### 4. バス輸送改善推進事業

バス輸送サービス改善を図るための輸送施設整備事業を、国、地方自治体、バス事業者が共同で行う取組及び、バス事業者が単独で行う取組に対して助成を行った。また、バス事業者の担当者のレベル向上を図るためCS（顧客満足）講習や関係団体等啓蒙用のチラシの配布などを行ってバス利用促進等広報事業を行った。

#### (1) 輸送施設整備に対する助成事業

地域住民の生活の足として必要不可欠な公共輸送機関であるバス輸送サービスの改善を図るとともに、バリアフリー化等による高齢者、障害者等交通弱者の社会参加の阻害要因を除去することにより、バス事業の活性化を図るため、国、地方自治体、バス事業者を含めた関係者が共同して実

施、又はバス事業者が単独で実施するバス情報システム、カードシステム、バスターミナル内のバリアフリー化、パーク&ライド・サイクル&ライドシステム、超低床ノンステップバス、低公害バス等の導入整備に対して助成を行うこととしており、平成29年度は応募がなかった。

## (2) CS(顧客満足)講習会の開催

平成30年2月21日に「おもてなしの心を魅せますセミナー」を開催し、Jプレゼンスアカデミーの講師から、接客マナーの基本5原則(挨拶、表情、身だしなみ、言葉遣い、態度)を中心にご講演いただいた。

また、中部運輸局観光部観光企画課専門官から、国が進める観光政策や、運輸局管内の訪日外国人観光の現状及び受入環境整備などについて、ご講演いただいた。

## (3)バス利用促進広報及びイベント事業への支援

マイカーからバスへ乗り換え(モーダルシフト)を促進するために、街頭にて「バスの日」利用促進PR活動を平成29年9月20日名鉄百貨店メンズ館前周辺及び名鉄名古屋駅コンコース中央改集札(入口及び出口)周辺において、バスガイド20名を含む貸切バス事業者46名と、愛知県警察本部、中村警察署及び愛知運輸支局にも協力いただき実施した。

また、バスの日(9月20日)を中心に、愛知、静岡、岐阜、三重、福井5県のバス協会の協働又は単独による日刊紙、専門誌を通じた広報、バスターミナルや営業所でのポスターの掲示、バスターミナルや営業所、車内掲示用及び事業者と自治体が連携して行うバスに親しむことを目的としたバス乗り方教室に啓発品を配布するなどバス利用促進等広報事業を行った。

## 5. 中央団体出捐事業

本協会の全国団体である公益社団法人日本バス協会(以下「日本バス協会」という。)が、中央事業として実施する輸送施設整備事業、人と環境にやさしいバス普及事業等の費用について出捐する事業については、平成25年度から日本バス協会は出捐事業を実施しないこととなったため、平成29年度も当該額を当協会の事業の実施に充てた。

## 6. バス利用者への情報提供事業

本協会のホームページにより、バス運転士採用情報及び貸切バス運賃料金

制度の周知「お客様の安全のために貸切バスの運賃・料金の制度が変わりました」並びに乗合バス、貸切バス、高速バス、空港アクセスバスに係る情報提供を行った。

## 7. その他事業

### (1) 会員向けへの情報提供等の事業

#### ① 加入促進事業

公益事業の適正かつ効率的な推進を図るため、ホームページに協会の概要等を掲載するとともに会員を通じてバス事業者への加入の呼びかけを行うとともに、事務局への来訪者に対しては総会資料等の説明を行い、随時入会を促すなど広くバス事業者に協会加入の呼びかけを実施した。

#### ② 情報を提供する事業（緊急連絡網による情報の提供事業）

会員に対して旅客誘致の観点からの情報提供を随時行った。

また、緊急連絡網は、協会・会員間の日常的な通達、連絡、調査等に加え、バスジャック防止対策及びテロ対策はもとより、津波や地震情報の早期伝達による災害防止対策や、「児童生徒等見守りネットワーク連絡会議」（愛知県教育委員会）への参画により進めている不審者情報の取得、情報提供による被害防止、問題解決への対応等幅広く活用している。

#### ③ 優秀運転者表彰

優秀運転者表彰制度は、10年、15年、20年、25年、30年等永年の無事故・無違反による運転業務を続け、バス利用者のみならず、一般市民に対しても安全・安心なサービスの提供をしてきたことに対する評価による表彰であり、このことが他の運転者の模範として励みになり、これまで以上に安全・安心なサービスを心がけるよう啓蒙を図るために表彰事業を行った。

### (2) 関係機関への要望及び調整

#### ① 制度改正及び法への適切な対応

以下の対応を行った。

ア 乗合バス事業、貸切バス事業に関する要望及び制度改正に伴う具体的な運用に関する問題点の改善に係る関係機関への要望

イ 税制改正に関する要望

ウ 交通バリアフリー法に基づく対策促進と関係機関との調整

②バス事業補助制度の拡充及び適切な運用のため関係機関と調整

生活交通確保のための公的補助、地域交通活性化・再生等に必要な補助財源の確保と適正な執行のために関係機関との調整を行った。

③貸切バス事業の適正利用促進への適切な対応

貸切バス事業の利用に関する旅行業界、国、地方自治体、経済団体、関係機関等との連携による違法行為の排除、適正運賃収受など適正な旅行の振興、利用促進に向けての調整を、中部運輸局の協力をいただき行った。また、貸切バス適正化センターが行う巡回指導に協力を行った。

④中部国際空港バスターミナル運営協議会事業等への参画、運営

中部国際空港バスターミナル運営協議会（構成員：関係バス事業者、関係各県バス協会）に参画し、その運営（事務局、管理事務所の無償貸与）を行った。

また、中部国際空港貸切バス駐車場等の管理運営を、外部委託により行った。

⑤名古屋駅西口貸切バス乗車システム運営協議会への参画、運営

名古屋駅西口貸切バス乗車システム運営協議会（構成員：愛知県バス協会、旅行業協会（JATA、ANTA）、関係バス事業者）に参画し、その運営（事務局）を行った。

(3) 行政への協力

①愛知県バス対策協議会、地域公共交通会議等への参画

バス路線の公的補助による地域社会に適したバス交通の確保事業を協議する会議、市町村が主となって運行するコミュニティバスをはじめとする地域公共交通に関する検討を行う会議等に参画した。

②エコモビリティライフ推進協議会への参加

愛知県に設置されたエコモビリティライフ推進協議会に参画し、エコモビリティライフ推進運動の取り組みを行った。

③地震防災対策への協力

平成29年10月20日に、愛知県防災対策に係るライフライン関係



機関連絡会に参加し、南海トラフ地震等の大規模災害により鉄道の運行ができなくなった場合の代替輸送による交通手段の確保等に関して意見交換を行った。

また、緊急連絡網を通じて国、県との情報交換を行えるシステムを構築しており、バス事業者への危険情報を速達し、津波や土砂崩れ等の被災の防止に対応した。

## 8. 業務報告主要事項

(1) 会員数 98事業者（平成30年3月31日現在）

### (2) 会員の異動

○加 入 12事業者（承認日）

ゼロナイントヨタ有限会社（平成29年5月12日付）

豊栄交通岡崎株式会社（平成29年5月12日付）

東神観光バス株式会社（平成29年9月25日付）

株式会社大地観光バス（平成29年9月25日付）

東栄タクシー有限会社（平成30年1月25日付）

勢の國交通株式会社（平成30年1月25日付）

有限会社東海特殊観光サービス（平成30年1月25日付）

株式会社FE観光（平成30年1月25日付）

東鉄タクシー株式会社（平成30年1月25日付）

株式会社TM（平成30年1月25日付）

株式会社WORLD CABIN（平成30年1月25日付）

株式会社セントラルサービス（平成30年3月26日付）

(3) 役員	会長	1名	副会長	2名
	理事	11名	専務理事	1名
	監事	3名		

(4) 内部会議	総会	1回
	理事会	4回
	交付金運用委員会	2回
	事故防止委員会	1回
	乗合バス運営委員会	1回

貸切バス実務委員会	3回
貸切バス実務委員会幹事会	2回
そ の 他	11回

(4-1) 総 会 (定時総会)

平成29年 6月 9日 「名鉄グランドホテル」において  
議 題

- 第1号議案 平成28年度事業報告(案)について
- 第2号議案 平成28年度決算報告(案)について
- 第3号議案 任期満了による全役員の改選及び会長候補者の選定  
について

【報告事項】

- (1) 新入会会員について
- (2) 平成29年度事業計画について
- (3) 平成29年度収支予算について

(4-2) 理 事 会

○ 第1回

平成29年 5月12日 「名鉄グランドホテル」において  
議 題

- 第1号議案 平成28年度事業報告(案)について
- 第2号議案 平成28年度決算報告(案)について
- 第3号議案 任期満了による全役員の改選について
- 第4号議案 会員加入の承認について
- 第5号議案 平成28年度定時総会の開催及び提出議題について

【報告事項】

- ・民間指定機関の設立について
- ・その他

○ 臨時

平成29年 6月 9日 「名鉄グランドホテル」において  
議 題

- 第1号議案 会長の選任について

○ 臨時

平成29年 9月25日 「名鉄グランドホテル」において  
議 題

第1号議案 会員加入の承認について

【報告事項】

- (1) 平成29年度事業実施状況及び事業予定について
- (2) 平成29年度愛知県バス協会巡回指導状況について
- (3) 事業用自動車総合安全プラン2020について
- (4) その他

○ 臨時

平成30年 1月25日 「名鉄グランドホテル」において  
議 題

第1号議案 会員加入の承認について

【報告事項】

- (1) 事業報告(29.9～30.1)及び事業予定について
- (2) 中部地区バス運転士合同就職説明会について
- (3) 運送事業者の健康づくりの推進に向けた包括的事業連携に関する協定について
- (4) 全国におけるバスの重大事故について
- (5) 緊急連絡網の作成について
- (6) 日本バス協会理事会及び委員会の報告について

【その他】

- ・更新制、適正化事業について

○ 第2回

平成30年 3月26日 「名鉄グランドホテル」において  
議 題

第1号議案 会員の加入について

第2号議案 平成30年度事業計画（案）について

第3号議案 平成30年度収支予算（案）について

【報告事項】

- ・平成29年度事業の実施状況について

(4-3) 交付金運用委員会

○ 第1回委員会

平成29年 4月24日「愛知県自動車会館5F会議室」において  
議 題

- (1) 運輸事業振興助成交付金勘定 平成28年度収支決算(案)  
について
- (2) その他

○ 第2回委員会

平成30年 3月 9日「名鉄バス本社 5F会議室」において  
議 題

- (1) 運輸事業振興助成交付金勘定 平成30年度事業計画(案)に  
ついて
- (2) その他

※ 運輸事業振興助成交付金事業

〈平成29年度交付金交付決定〉平成29年4月1日

〈総事業費〉

輸送の安全の確保に関する事業	21,354,007円
サービスの改善及び向上に関する事業	19,873,280円
公害防止・地球温暖化の防止その他の 環境の保全に関する事業	1,650,000円
適正化に関する事業	5,743,000円
計	48,620,287円

〈交付金充当額〉 47,641,000円

〈事業概要〉会計報告書のとおり

(4-4) 事故防止委員会

○ 第1回委員会

平成30年 1月29日 「愛知県自動車会館5F会議室」において  
講 演

- (1) 事故発生後の再発防止対策について

中部運輸局自動車技術安全部保安・環境課主査

(2) 安全推進活動実施のためのコミュニケーション講座について  
自動車事故対策機構名古屋主管支所マネージャー

議 題

- (1) 「第55回愛知県バス協会長優秀自動車運転者表彰候補者」審査について
- (2) その他

(4-5) 乗合バス運営委員会

平成29年10月27日 「愛知県自動車会館5F会議室」において  
議 題

(1) 貨客混載について

①制度説明について

中部運輸局自動車交通部貨物課 豊田専門官

②事例について

愛知運輸支局 杉本首席運輸企画専門官

(2) 一般乗合旅客自動車運送事業における事業計画及び実施計画に  
定めた運行の実施等について

愛知運輸支局 杉本首席運輸企画専門官

【報告事項】

- (1) 安全輸送決議について(平成29年6月23日日本バス協会)
- (2) 事業用自動車総合安全プラン2020について
- (3) その他

(4-6) 貸切バス実務委員会

○ 第1回貸切バス実務委員会

平成29年 4月25日 「愛知県自動車会館5F会議室」において  
議 題

(1) 事業許可更新制の導入について

中部運輸局自動車交通部旅客第一課 鈴木専門官

(2) (一財)中部貸切バス適正化センター設立について

(一財)中部貸切バス適正化センター 三宅事務局長

【報告事項】

(1) 災害時における緊急輸送等に関する協定について

(平成29年3月17日)

(2) 女性限定バス運転体験会の開催について

(平成29年2月18日)

(3) 平成28年度事業の実施状況について

(4) その他

○ 第2回 貸切バス実務委員会

平成29年7月27日 「愛知県自動車会館5F会議室」において  
議 題

(1) 名古屋駅のバスベイ利用に関する交通ルール遵守について

愛知県中村警察署交通課 鎌田課長代理

(2) 貸切バス事業者、運行管理者等の遵守事項の強化及び健康管理  
に関する取り組み等について

愛知運輸支局保安担当 井出陸運技術専門官

(3) 指導及び教育等について

①セーフティ・eラーニング(乗務員に対する安全教育)について  
東海海上日動リスクコンサルティング(株) 床尾主席研究員

②NASVA安全マネジメント・コンサルティングの取り組みに  
ついて

独立行政法人自動車事故対策機構名古屋主管支所

小林主管支所長、佐伯マネージャー

【報告事項】

・安全輸送決議について(日本バス協会)

○ 第3回 貸切バス実務委員会

平成30年1月18日「ウィルあいち1Fセミナールーム」において  
議 題

(1) 貸切バスの安全対策について

中部運輸局自動車技術安全部 柴田保安環境課長

(2) 運賃料金等の質問事項に対する回答について

愛知運輸支局 杉本首席運輸企画専門官

(4-7) 貸切バス実務委員会幹事会

平成29年 6月14日 「名鉄バス株式会社5F会議室」において  
議 題

JR名古屋駅西口における法令遵守周知活動及び美化活動について

- (1) 「名古屋駅のバスベイ利用に関する交通ルール遵守」について  
愛知県中村警察署交通課 鎌田課長代理
- (2) 西口における現状について
- (3) 短期的な行動と長期的な行動について

(4-8) 運輸安全マネジメントセミナー

～中小規模事業者向け～ 参加者 81名  
平成29年 7月 4日 「名古屋東京海上日動ビル」において  
講演  
・「運輸安全マネジメントセミナー(ガイドラインセミナー)」  
講師：東京海上日動リスクコンサルティング(株)  
床尾 あかね 主席研究員

(4-9) 運行管理者安全講習会(愛知岐阜三重県合同開催) 参加者 41名

平成29年11月29日 「ウインクあいち」において  
講演  
・運行管理者向け「コミュニケーションスキルアップ研修」  
～事故惹起者面談を想定して～  
講師：東京海上日動リスクコンサルティング(株)  
床尾 あかね 主席研究員

(4-10) 交通事故防止セミナー(愛知岐阜三重県合同開催) 参加者 91名

平成30年 1月31日 「ウインクあいち」において  
講演  
・運行管理者向け「ヒューマンエラー防止セミナー」  
～具体的場面での事故防止も想定して～  
講師：東京海上日動リスクコンサルティング(株)  
床尾 あかね 主席研究員

(4-11) 労務トラブル防止セミナー

参加者 27名  
平成30年 2月9日 「三井住友海上名古屋しらかわビル」において  
講演  
・労務トラブルと企業リスク対策について  
講師：三井住友海上火災保険(株)

岩崎 健二 経営リスクアドバイザー

- ・車両運行の事故防止について

講師：(株)インターリスク総研名古屋事務所

大塚 孝一 アドバイザー

(4-12) CS (顧客満足)セミナー 参加者41名

平成30年 2月21日 「ウインクあいち」において

講習

- ・おもてなしの心を魅せます

講師：キャプラン(株)・Jプレゼンスアカデミー

近藤 ゆり子 インストラクター

講習内容

～お客様からの「このバスに乗って良かった」を目指して～

- ・お客様の期待するサービスとは
- ・さわやかな接客サービス：一人ひとりが会社の代表者

講演

- ・昇龍道プロジェクトの近況について

講師：中部運輸局企画観光部 下平専門官

(4-13) 救命講習会 参加者17名

平成30年 1月16日 「愛知県自動車会館5F会議室」において

講習内容

- ・成人に対する心肺蘇生法
- ・AED（自動体外式除細動器）の取扱い方法
- ・異物除去要領
- ・止血法

(4-14) 運行管理者試験対策講習

○ 第1回 参加者84名

平成29年 7月26日 「愛知県自動車会館5F会議室」において

講習内容

- ・導入、受験の心得
- ・道路運送法、道路運送車両法
- ・道路交通法、労働基準法、実務上の知識等



○ 第2回 参加者62名  
平成30年 1月22日 「ウインクあいち」において  
講習内容

- ・導入、受験の心得
- ・道路運送法、道路運送車両法
- ・道路交通法、労働基準法、実務上の知識等

(5) 外部会議	中部運輸局関係	27回
	愛知運輸支局関係	19回
	日本バス協会関係	19回
	中部バス協会関係	11回
	自動車会議所関係	11回
	交通安全関係	25回
	観光・旅行業関係	9回
	道路関係	11回
	環境関係	2回
	防災関係	8回
	愛知県バス対策協議会	2回
	地域公共交通会議	
	及び活性化・再生協議会	74回
	その他	29回

(5-1) 愛知県バス対策協議会

○ 第1回幹事会  
平成29年 7月27日  
議 題

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業の変更点について
- (2) 平成30年度地域間幹線系統への位置付け申し出路線に係る対応策について
- (3) 平成30年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の策定等について
- (4) 情報交換

○ 第2回幹事会

平成30年 1月10日

議 題

- (1) 平成29年度地域間幹線系統確保維持計画に係る事業評価について
- (2) 平成31年度地域間幹線系統への位置付け申し出路線について
- (3) 平成29年度生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の策定について

(5-2) 中部国際空港バスターミナル運営協議会

○ 通常総会

平成29年 4月27日

議 題

- 第1号議案 平成28年度会計報告及び会費の精算について
- 第2号議案 平成29年度収支予算(案)及び概算会費について
- その他

○ 理事会

平成29年 9月 8日

議 題

- 第1号議案 役員の補充選任について
- 第2号議案 ダイヤ改正について
- 第3号議案 会員加入の承認について
- その他 中部国際空港の将来計画について

○ 中部国際空港バスターミナル運営協議会意見交換会

平成29年12月11日

議 題

- ・LCCターミナル開設時の路線バス施設運用について
- ・名阪近鉄バス(株)京都線の運行開始について
- ・名阪近鉄バス(株)路線運行開始時の券売機取扱いについて
- ・12月17日(日)一部道路通行止めについて

○ 中部国際空港バスターミナル運営協議会会員事業者間での意見交

換会

平成29年 12月11日

○ 中部国際空港会社との意見交換会

- ・第2回 平成29年 4月 6日
- ・第3回 平成29年 4月28日
- ・第4回 平成29年 7月27日
- ・第5回 平成29年 9月 1日

○ LCC向け新ターミナル建設に合わせたバス関係施設の変更について  
事務局と中部国際空港会社との意見交換会

平成30年 2月13日

(5-3) 名古屋貸切バス乗車システム運営協議会

○ 理事会

平成29年 7月10日

議 題

第1号議案 平成28年度決算報告案について

報告事項

- ・名古屋駅のバスベイ利用に関する交通ルール遵守のお願い  
愛知県中村警察署交通課 鎌田課長代理

(6) 表彰式	中部運輸局長表彰	1回
	愛知運輸支局長表彰	1回
	協会長表彰	1回
	交通栄誉賞「緑十字銀賞」	1回
	中部管区警察局長表彰	1回
	交通栄誉賞「緑十字銅賞」	1回
	愛知県警察本部長表彰	1回
	交通安全推進協議会会長表彰	1回
	愛知県高速道路交通安全協議会表彰	1回

○ 優秀自動車運転者バス協会長表彰（第55回）

- ① 日 時 平成30年 3月 2日
- ② 場 所 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号  
名古屋市熱田文化劇場 ホール
- ③ 受賞者 30年以上 3名  
25年以上 5名  
20年以上 15名  
15年以上 20名  
10年以上 50名  
計 93名

《事業者別優秀自動車運転者表彰者数》

事業者名	30年	25年	20年	15年	10年	合計
名鉄バス(株)	1	1	2	7	16	27
名鉄バス中部(株)			1	1	1	3
名鉄バス東部(株)			2	1	4	7
名古屋市交通局		1	4	3	4	12
豊鉄バス(株)			2	3	2	7
知多乗合(株)					2	2
名鉄観光バス(株)		2		3	4	9
鯉バス(株)	1	1	1		1	4
豊鉄観光バス(株)			1			1
ジェイアール東海バス(株)					8	8
名古屋滋賀交通(株)					3	3
帝産観光バス(株)			1	1		2
(株)ナゴヤシップサービス					1	1
つばめ自動車(株)					2	2
三機商事(株)	1		1	1	2	5
総計	3	5	15	20	50	93

(7) 貸切バス新規許可等申請状況（平成29年度）

① 事業者数 154者（平成30年3月31日現在）

② 貸切バスの事業者数・車両数

	事業者数 (者)	車両数 (両)			
		大型	中型	小型	合計
平成28年度 (H29.3末)	1 5 2	1, 3 3 7	2 5 5	6 9 1	2, 2 8 3
平成29年度 (H30.3末)	1 5 4	1, 3 5 2	2 6 3	6 5 4	2, 2 6 9
前年比	+ 2	+ 1 5	+ 8	- 3 7	- 1 4

③ 新規許可 (件)

区分	前年未処理	申 請	許 可	却下・取下	未処理
新規	0	1	1	2	0

④ 区域拡大 (県内営業所新設を伴う案件) (件)

区分	前年未処理	申 請	認 可	却下・取 下	未処理
区拡	0	2	1	1	1

[処理事案]

平成29年7月18日 認可

申 請 者 株式会社 トーヨーふれ愛バス

営 業 所 愛知県小牧市新町2-130-1 (パインハイツ203号)

事業用自動車 大型8両

(平成30年3月31日現在 大型4両、中型2両、小型2両 計8両)

(8) 貸切バス事業の撤退状況

① 事業廃止・・・2者

- ・ 有限会社 エサキ企画
- ・ 株式会社 日輪交通

② 区域縮小 (県内営業所廃止に伴う事案)・・・1者

- ・ 株式会社 ニッコー